

期総合教育計画の中に位置づけ推進している。

第一に、教職員の健康管理の充実である。短期人間ドック、婦人科検診等の健康管理事業を実施しているが、教職員の健康管理については年々重要視され、また教職員自身の健康管理意識の高揚にもない、受診希望者も増加しているため、これにこたえるべく毎年検診人員の枠の拡大を図っている。

第二に、教職員福利厚生施設の整備である。昨年六月に公立学校共済組合の県内二つ目の施設として「郡山会館」がオープンしたが、会議研修の場として多くの教職員に利用されている。また「あづま荘」では利用者の要望を取り入れ、洋大会議室等の整備など館内の改装を行った。

第三に、教職員住宅の整備である。公立学校共済組合の資金活用による教職員住宅の建設については、県及び各市町村が計画を立て、整備を行っているが、今年度の計画は、県教職員住宅一棟二十四戸をいわき市内郷に建設中であるが、市町村立学校教職員住宅についても三戸建設が計画され工事が進められている。

第四に、教職員の持家促進事業の充実であるが、本年四月に公立学校共済組合の貸付規程が改正され、住宅貸付についても一部限度の引き上げがされて充実に図られたが、これにより一層教職員の持家促進が図られるものと期待される。

福祉・厚生事業

教職員の福祉厚生事業については、昭和五十四年度教職員の意識調査を実施し、事業全般について見直しを行った。この見直しに基づき本年度の事業を効果的に実施している。

一 健康管理事業

(一) 短期人間ドック

教職員健康管理事業の最重点事業として年々拡充を図り、成人病をはじめその他疾病の早期発見、早期治療に努

表1 昭和55年度人間ドック実施状況

| 医療機関 | 委託人員 | 検診料 | 備考 |
|-----------|-------|---------------------|------------|
| 県保健衛生協会 | 520 | 男女 44,000 48,000 | 1泊2日 |
| 済生会福島病院 | 80 | 44,000 | 〃 |
| 太田綜合熱海病院 | 396 | 55,000 | 〃 |
| 公立岩瀬病院 | 30 | 55,000 | 〃 |
| 小野町地方総合病院 | 30 | 50,350 | 2泊3日 |
| 会田病院 | 30 | 45,000 | 1泊2日 |
| 塩田厚生病院 | 30 | 50,000 | 2泊3日 |
| 県立会津総合病院 | 160 | 男女 49,000 50,700 | 1泊2日 |
| 竹田綜合病院 | 80 | 55,000 | 〃 |
| 磐城共立総合病院 | 120 | 50,000 | 2泊3日 |
| 松村総合病院 | 160 | 54,000 | 1泊2日 |
| 保原中央病院 | 20 | 43,000 | 〃 |
| 東北中央病院 | 144 | 男女 53,556 54,676 | 2泊3日 |
| 合計 | 1,800 | 平均50,142 | 自己負担 8,000 |

表2 昭和54年度人間ドック実施結果分類表

| 検査項目 | 受診者 | 指導基準 | | | |
|------|-------|-------|-----|-----|-----|
| | | A | B | C | D |
| 一般理学 | 1,364 | 791 | 298 | 238 | 42 |
| 呼吸器系 | 1,637 | 1,355 | 204 | 70 | 8 |
| 循環器系 | 1,636 | 629 | 473 | 313 | 221 |
| 消化器系 | 1,636 | 745 | 543 | 287 | 61 |
| 腎機能 | 1,636 | 1,333 | 199 | 92 | 12 |
| 胆のう | 1,602 | 1,418 | 128 | 44 | 12 |
| 肝機能 | 1,637 | 1,381 | 132 | 96 | 28 |
| 糖尿病 | 1,637 | 856 | 430 | 251 | 100 |
| 血液系 | 1,637 | 1,281 | 239 | 88 | 29 |
| 血清 | 1,607 | 1,563 | 32 | 8 | 4 |
| 外科 | 562 | 464 | 58 | 29 | 11 |
| 耳鼻咽喉 | 438 | 381 | 44 | 6 | 7 |
| 歯科 | 20 | 1 | 2 | 2 | 15 |
| 眼科 | 1,608 | 1,081 | 431 | 52 | 44 |
| 皮膚科 | 301 | 289 | 2 | 0 | 10 |
| 婦人科 | 472 | 376 | 69 | 16 | 11 |

(注) 指導上の区分(表2、図1共通)

A……異常なし。

B……僅かに異常を認めるが、日常生活上支障なし。

C……日常生活上注意を要する。改めて精密検査を要する。

D……治療を要する。

図1 昭和54年度人間ドック検査項目別年齢別結果状況

